

「黒沢峠トレッキングと横川ダム見学」を開催しました！ ～ 森と湖に親しむ旬間「白い森おぐに湖体験」～

農林水産省と国土交通省では、森や湖に親しみ、心身をリフレッシュしながら、森林、ダム、河川等の重要性について理解を深めていただこうと、毎年7月21日から7月31日までを「森と湖に親しむ旬間」に定めています。

平成24年7月29日(日)に、同旬間行事として、山形県小国町の横川ダム周辺において「白い森おぐに湖体験」が開催され、置賜森林管理署では、森林ふれあい推進事業として「黒沢峠トレッキングと横川ダム見学」を開催しました。

旧越後米沢街道十三峠の1つであり、歴史の道百選に選定されている「黒沢峠」では、長い間埋もれていた敷石道3600段を掘り起こした「黒沢峠敷石道保存会」の方が歴史等を説明し、当署職員がその周辺の森林やその働き、ナラ枯れ被害対策等について説明しました。昔の人の気分で峠を越えた後は、燦々と照り付ける太陽の下、白い森おぐに湖湖畔にある「イチョウ広場」まで散策し、澄み渡った景色の下で昼食。その後、普段は見るできない横川ダムや発電所の内部を見学しました。

30度を超える暑い日でしたが、参加者にとって充実した一日となったようで、「次回はいつ開催するのですか。是非参加したい。」旨の声が挙がっていました。



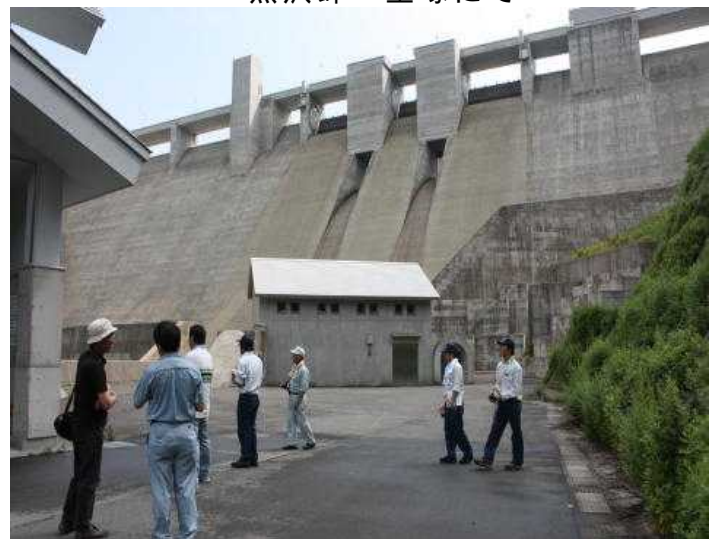
黒沢峠入口にて



黒沢峠一里塚にて



イチョウ広場にて昼食中



横川ダムにて

(H24.8.9作成)